

2013年
世界大会

多彩な海外代表・各界代表

政府・国連代表

国連や国際政治の最前線に立つ新アジェンダ諸国や非同盟諸国、5つの大陸にまたがる非核地帯、非核保有国から、多くの政府代表が参加します。現在、国連代表も招聘中です。

オリバー・ストーン監督が参加



オリバー・ストーン監督

2012年に「もうひとつのアメリカ史」(10回シリーズ)を製作したオリバー・ストーン監督と、共同制作者である歴史学者のピーター・カズニック氏が原水爆禁止2013年世界大会に参加します。両氏は世界大会の中で、原爆投下の犯罪性を訴えます。オリバー・ストーン監督は、『プラトーン』、『7月4日に生まれて』、『JFK』をはじめ数々の名作を世に送り出し、2度のアカデミー賞に輝いた巨匠。「もうひとつのアメリカ史」は、最新の資料による裏づけをもってアメリカの黒歴史を暴いた歴史大作と高く評価されています。

世界の反核平和運動

アメリカ、フランスなど核保有国の平和運動代表や、2010年NPTニューヨーク行動を指揮した有力な運動代表、マーシャル諸島やロシアのチェリャビンスクなど核被害者の代表などが参加します。



ジュディス・ルブラン
ピースアクション (アメリカ)

日本の草の根から

自治体と共同して全国に広がる原爆展、地域ぐるみの署名、平和行進など草の根のとりくみをすすめる代表、東電・福島第一原発の被害に立ち向かう人々、米軍基地や原子力空母撤去を求める人々など、全国各地からたくさんの代表が参加します。

関連行事

原水爆禁止2013年世界大会・科学者集会

- 8月1日(木)午前10時開会
- 明治大学アカデミーコモン309B(東京)

いのちをえらびとる断食のいのり

- 8月5日(月)10:00~16:00
- 広島平和記念公園 供養塔前

核兵器をなくす青年交流集会in長崎 Ring! Link! Zero2013

- 8月7日(水)18:30~
- 長崎市民会館体育館

核兵器なくそう女性のつどい2013in長崎

- 8月8日(木)18:00~
- 長崎市民会館体育館

※その他、階層ごとの集会在開かれます。

核兵器・平和をめぐる最新情報満載!

2013世界大会パンフレット



世界で広がる人道的アプローチの動き、北朝鮮の動向と対応など核兵器をめぐる最新の情勢から、国内での対政府交渉、放射能被害根絶の課題、平和行進、被爆者援護・連帯の活動など。世界大会にむけた学習資料としては最適です。B5版36ページ オールカラー 頒価300円



大会記念バッジ
(頒価300円)
(いずれも日本原水協発行)

核兵器のない 平和で公正な世界を



被爆から68年目の8月、原水爆禁止2013年世界大会が開催されます。2010年5月、世界189の国々は、核兵器のない世界をつくることに合意しました。今年の世界大会は、次のNPT(核不拡散条約)再検討会議にむけ、その合意の実現を求めて、新たな飛躍をつくる場です。5つの大陸にまたがる非同盟運動や非核地帯の国々の政府や国際機関の代表、世界の反核平和運動や、核被害者の代表と日本の草の根運動の代表とともに、核兵器全面禁止への道を考えます。また、放射能被害の根絶をめざし、原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を求める運動と連帯します。

国際会議、広島大会、長崎大会とたくさんのテーマ別分科会、文化行事や若い世代の人たちの被爆者訪問など、どのプログラムも、主人公は自分にできることを考え、話し合い、行動するあなたです。



2013 World Conference against N&H Bombs

原水爆禁止2013年世界大会

8月3日~5日 国際会議(広島) 8月5日~6日 世界大会・広島 8月7日~9日 世界大会・長崎

核兵器のない世界を願う人なら、だれでも参加できます。

参加の仕方、参加費などについて詳しくは、各県実行委員会(原水協)または、下記までお問い合わせください。

原水爆禁止世界大会実行委員会 〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階
Tel.03-5842-6035 Fax.03-5842-6033 <http://www.antiatom.org/>

2015年へ、核兵器のない世界の実現へともに行動を主人公はあなたです！あなたの参加が世界大会をつくります

国際会議 8月3日(土)～5日(月) 会場：広島市文化交流会館

日本と世界の平和運動の代表が、2015年NPT再検討会議の第2回準備委員会の結果をふまえ、核兵器のない平和で公正な世界を実現するために、道筋や活動について話し合います。若い世代のみなさんの参加を期待します。



世界大会-広島 8月5日(月)～6日(火)

市民と海外代表の交流集会
8月5日(月) 18:30～20:30
●広島市文化交流会館・銀河

市民と国際政治の最前線に立つ人道的アプローチをすすめる諸国や非同盟諸国及び非核国の政府代表、世界各国の平和運動などがパネリストになり、会場とともに、核兵器のない平和で公正な世界をテーマに交流・討論します。

ヒロシマデー集会
8月6日(火) 13:00～15:30(開場12:00)
●広島県立総合体育館・グリーンアリーナ

被爆地広島の声の世界に発信し続けてきた広島の被爆者と平和運動、市民が主人公です。海外からも毎年、非核地帯の政府代表、核保有国をはじめ世界各国の平和運動、核被害者の運動代表が報告し、広島からメッセージを世界に送ります。スペシャルゲストとして参加するオリバー・ストーン監督とピーター・カズニック教授が、広島の被爆者と対談企画を行います。

被爆68年ヒロシマデー とうろう流し 19:30～20:30 基町河川公園

世界大会-長崎 8月7日(水)～9日(金)

開会総会
8月7日(水) 15:30～18:00(開場14:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール

メインスピーカーとして、国連や国際政治の最前線に立つ人道的アプローチをすすめる諸国や非同盟諸国及び非核国の政府代表、長崎市長(招請中)、そして世界の草の根運動の代表が発言します。全国からは、原爆展、平和行進、地域ぐるみの署名運動が映像なども使って豊かに語られ、政府、自治体、市民の共同が作りだす世界の変化と草の根の役割がわかり、核兵器全面禁止へのうねりが実感できます。



8月8日分科会は、右一覽を参照

閉会総会
8月9日(金) 10:30～13:00(会場9:30)
会場：長崎市民会館体育館／文化ホール

被爆地長崎から、核兵器全面禁止のメッセージを世界に発信します。政府、海外代表の発言、被爆者や全国の運動、青年の声を集め、2015年NPTへ、新たな行動を参加者のみなさんとともにスタートさせます。



●広島市平和記念式典 (8月6日8:00～8:45) 広島市主催 広島平和公園

●長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 (8月9日10:35～11:43) 長崎市主催 長崎平和公園

8月8日(木) 魅力いっぱいの分科会・動く分科会 フォーラム、動く分科会は時間が異なります。また、別途費用がかかります。

フォーラム 「核兵器全面禁止のために—政府とNGOの対話」

2015年NPTへ、核兵器廃絶のために国際政治の第一線で活躍している政府代表と草の根運動が議論します。

- 1 2015年に向けて—核兵器全面禁止の行動を
2015年NPTへ、「核兵器全面禁止」の大波をつくりだすために、交流・討論します。
- 2 非核平和のアジアを
非核平和の東アジアをめざし、関係各国の平和運動が参加し、議論します。
- 3 非核平和の日本を
米国の「核の傘」から抜け出し、核兵器全面禁止ヘリードする日本をどうつくるのかを議論します。
- 4 非核平和の自治体づくり
核兵器廃絶と平和を願う自治体が増えるなか、非核・平和行政の推進と自治体の役割などを自治体関係者とともに交流します。
- 5 9条輝く日本を—原水爆禁止運動の役割
9条を生かした日本を実現するために、原水爆禁止運動が何をすべきか、議論します。
- 6 被ばく体験の継承と実相普及
広島・長崎の原爆投下から68年。国際的にひろがる人道的アプローチを大きなテーマにしながら、被ばく体験の継承と実相の普及について考えます。
- 7 被爆者援護・連帯の活動
広島・長崎の被爆の実相に学びながら、ネットワークづくりなど今後の被爆者援護・連帯の活動について考えます。
- 8 核兵器と原発
原水爆禁止運動と脱原発の運動の共同の理由を深めつつ、被災地支援、除染、各地の放射能測定など放射能被害をどう防ぎ根絶していくかのとりくみを交流します。
- 9 核兵器廃絶とくらし
経済問題と核兵器廃絶など平和の課題とのつながりを学び、とりくみを交流します。
- 10 反核平和と文化
核兵器廃絶のとりくみの中での文化の役割を深め、交流します。
- 11 青年のひろば—学習・交流
被爆者の方から直接対話形式で、被爆体験、その後の生きざま、思いを受け継ぎ、「なぜ、今、核兵器をなくすのか」その原点を学び、交流します。
- 12 映像のひろば
2012年に「もうひとつのアメリカ史」(10回シリーズ)を製作したオリバー・ストーン監督と、歴史学者のピーター・カズニックさんに、アメリカの原爆投下の犯罪性について語っていただきます。また、原爆症認定集団訴訟の記録の上映を通して、被爆者のたたかいを知り、交流します。
- 13 <動く分科会>佐世保基地調査行動
日米軍事一体化のもとで一層強化される佐世保基地(米軍・自衛隊)を調査します。
- 14 <動く分科会>被爆遺構・碑めぐり
被爆体験を聞き、ガイドとともに被爆遺構をめぐることで被爆地ナガサキの心に触れます。
- 15 <動く分科会>少年少女平和のつどい
全国から集まる少年少女が、被爆地ナガサキでスイトンを食べながら、被爆体験を聞き、つどいます。

■ <高校生参加企画>世界のヒバクシャと語ろう